

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	膵全摘術の安全性・妥当性に関する検討			
2. 対象患者	2010年1月から2016年5月までの期間に、弘前大学医学部附属病院において膵全摘術(残膵全摘術を含む)を受けた15例が対象です。			
3. 対象となる期間	倫理委員会承認日から平成29年3月31日まで			
4. 実施診療科等	医学部附属病院消化器外科、大学院医学研究科消化器外科学講座			
5. 研究責任者	氏名	小田切 理	所属	医学部附属病院消化器外科
6. 研究の意義	膵癌などの治療で行われる膵全摘術は、膵臓の機能を失うために糖尿病、消化吸収障害、脂肪肝などを生じ、術後の患者さんの生活の質を損なうことが懸念される手術です。近年進歩を遂げた糖尿病・消化吸収障害の治療薬により、膵全摘術による生活の質の低下は抑えられ、膵全摘術の安全性も向上していることが期待されますが、その実情は明らかではありません。本研究はこのことを検証し、膵全摘術の安全性・妥当性の解明に寄与します。			
7. 研究の目的	膵全摘術の安全性・妥当性を明らかにします。			
8. 研究の方法 (使用する資料等)	過去の診療データ(既存情報)を使用する研究であり、患者さんに新たな負担や費用が生じることはございません。既存情報は診療録を利用して収集し、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、術式、臨床病理所見などの手術関連情報、合併症や術後経過などの術後情報を使用します。膵全摘術を受けた患者さんの術後経過を分析し、膵全摘術の安全性を検討します。			
9. 個人情報の保護	対象者のプライバシーに十分配慮し、情報の漏洩防止に努めます。調査結果については研究目的以外に使用することはありません。データは弘前大学医学部附属病院消化器外科ならびに大学院医学研究科消化器外科学講座内でのみ管理し、対象者の個人情報は外部に漏らすこととはございません。研究内容と連絡先を当科ホームページに公開し、対象者の参加撤回の自由を確保します。			
10. 利益相反に関する状況	本研究における利益相反はございません。			
11. 問い合わせ先	〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学医学部附属病院 消化器外科 小田切 理 メールアドレス: todagiri@hirosaki-u.ac.jp			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080